

# 河川環境行政における 住民参加の取り組み

国土交通省河川局

河川環境課 河川環境保全調整官

小俣 篤

# 河川法改正の流れ

1896年

近代河川制度の誕生

治水

1964年

治水・利水の体系的な制度の整備

- ・水系一貫管理制度の導入
- ・利水関係規定の整備

治水 + 利水

1997年

治水・利水・環境の総合的な河川制度の整備

- ・河川環境の整備と保全
- ・地域の意見を反映した河川整備の計画制度の導入

治水

利水

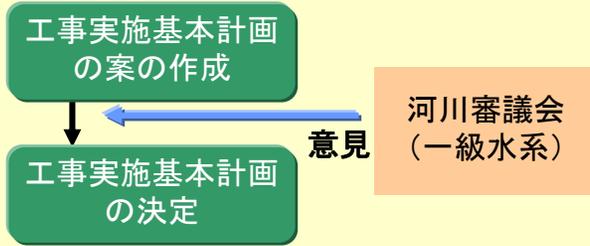
環境

# 河川法改正による制度の見直し

## 旧制度

### 工事实施基本計画

内容 ⇒ 基本方針、基本高水、計画高水流量等  
主な河川工事の内容

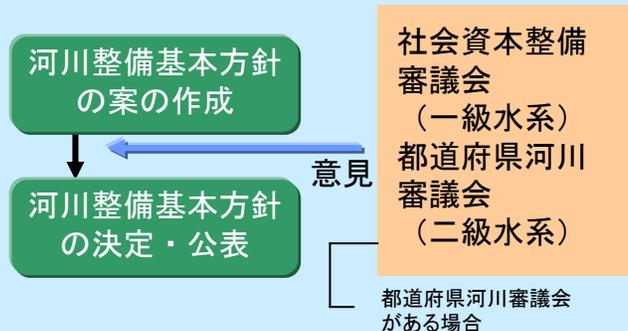


河川工事

## 新制度

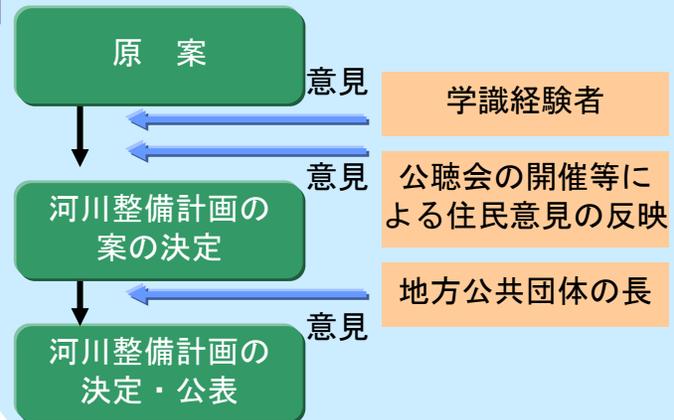
### 河川整備基本方針

内容 ⇒ 基本方針  
基本高水、計画高水流量等



### 河川整備計画

内容 ⇒ 河川整備の目標  
河川工事、河川の維持の内容

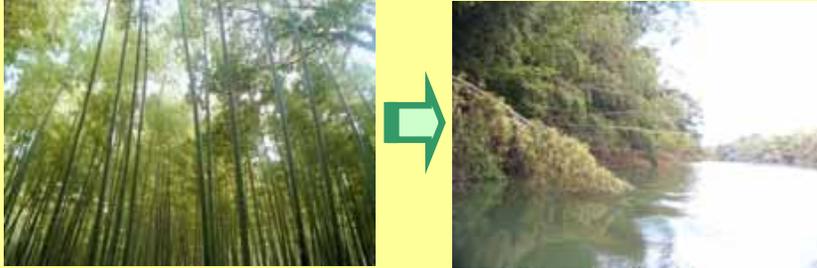


河川工事、河川の維持

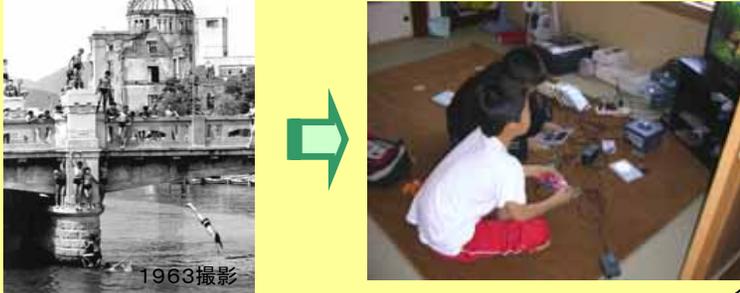
# 人と川の密接な関係の再構築

## 人と川とのつながり(昔と今)

### ◆竹林の荒廃



### ◆川ガキの減少



### ◆不法投棄の増大



川との関わりの希薄化

## 川と人との密接な関係の再構築

### 市民

- 自己責任に基づく川の利用
- 川での活動への積極的な参加
- 自らの知識や技能の積極的な活用

連携

### 行政

- 人々の関心を高める魅力ある川づくり
- 川に関する知識や情報の提供
- 川での活動の実施と支援
- 学校教育における川での活動の支援

流域ごとに特徴ある  
川と人間社会の再構築

- ・自然再生
- ・住民参画
- ・環境教育

**自然再生**

治水、利水上の河川工事に際して、併せて実施することにより過去に失われた貴重な河川環境を復元する

### → 多自然川づくり

施工前



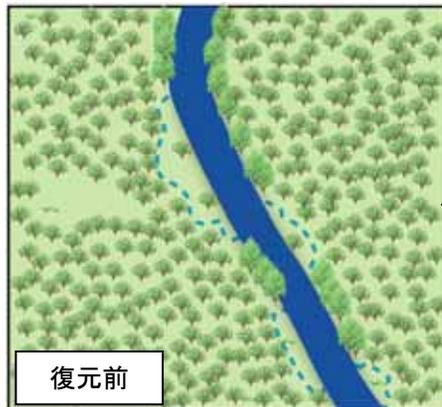
茂漁川（北海道）

施工後



過去の河川工事等により失われた貴重な河川環境を復元、あるいは現状では失われてしまう環境を保全する

### → 自然再生事業



蛇行河川の復元イメージ

### アザメの瀬自然再生の目標

#### ～ 河川の氾濫原的湿地を再生 ～

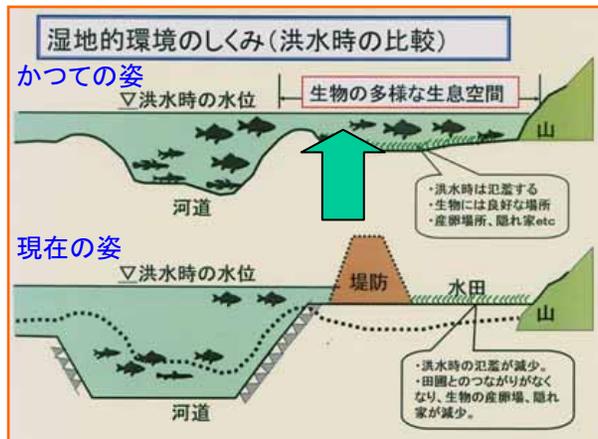
・土地利用の変化や治水事業により氾濫原的湿地環境

の大部分が減少

○地盤を掘り下げ、河川水が流入可能とする昔の川の

システムの再生

○シードバンク手法による植生の復元(深さ2mまでの表土を利用)



#### ～ 人と生物のふれあいの再生 ～

・ごく普通に見ることのできたコイ、フナ、ナマズ、ドジョウ、テナガエビが減少し、これらの魚介類に接する機会が失われた

○多様な動植物に触れ合える場の復活





検討会の様子



原案作成時の打ち合わせ

住民参加による検討会  
これまでの  
のべ**1,000**人が参加



現地見学会の様子



模型を用いての意見交換

コウノトリの野生復帰を目標に掲げ、地域住民と行政のさまざまな主体(国交省、県(河川、農林、環境部局等)、市町村)が一体となって自然再生を推進

## コウノトリ野生復帰推進協議会

国土交通省(豊岡河川国道事務所)  
兵庫県(環境部局、農林部局、河川部局、教育部局等)  
豊岡市、城崎町、日高町、出石町



湿地



水田



水田と水路をつなぐ魚道

- ・ 遊水地における湿地の創出
- ・ 河川における水際のエコトーン創出
- ・ 環境負荷の小さい農業の推進
- ・ 河川、水路、水田の連続性の確保 等

里山林



アカマツの植林

- ・ 市民やボランティア等による里山林の管理
- ・ コウノトリの営巣木であるアカマツの再生 等

環境教育



- ・ 環境教育プログラムの整備
- ・ 体験活動の機会の提供 等

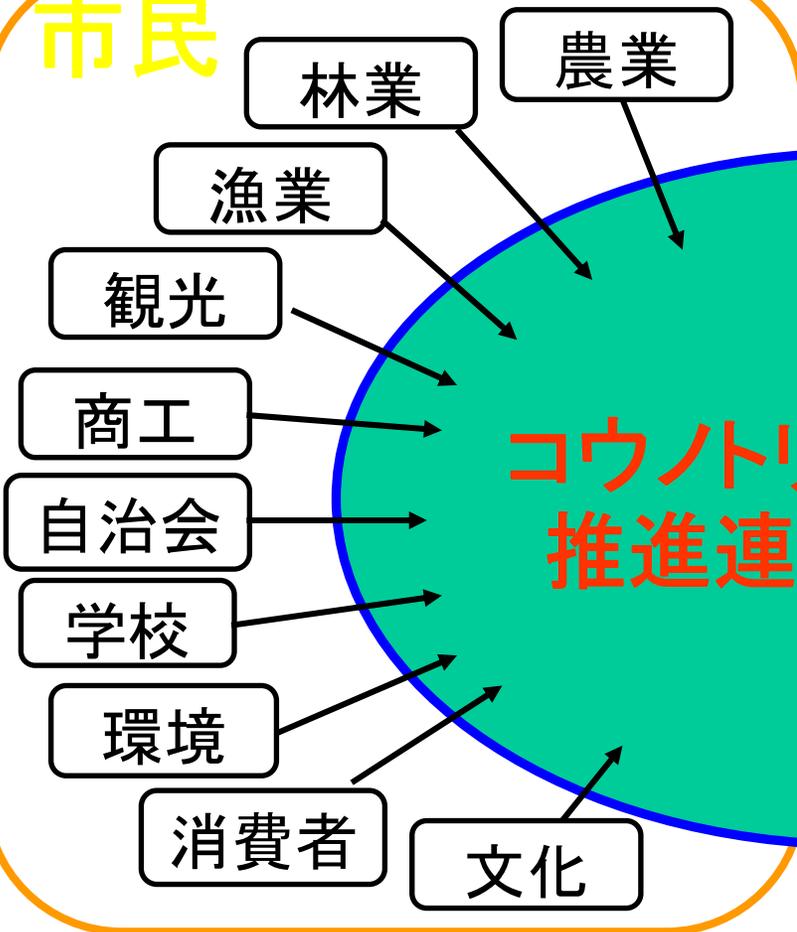
国内のコウノトリの最後の生息地となった但馬地域(円山川流域)では、1960年頃には、コウノトリと人々が共生する暮らしがまだ見られた。



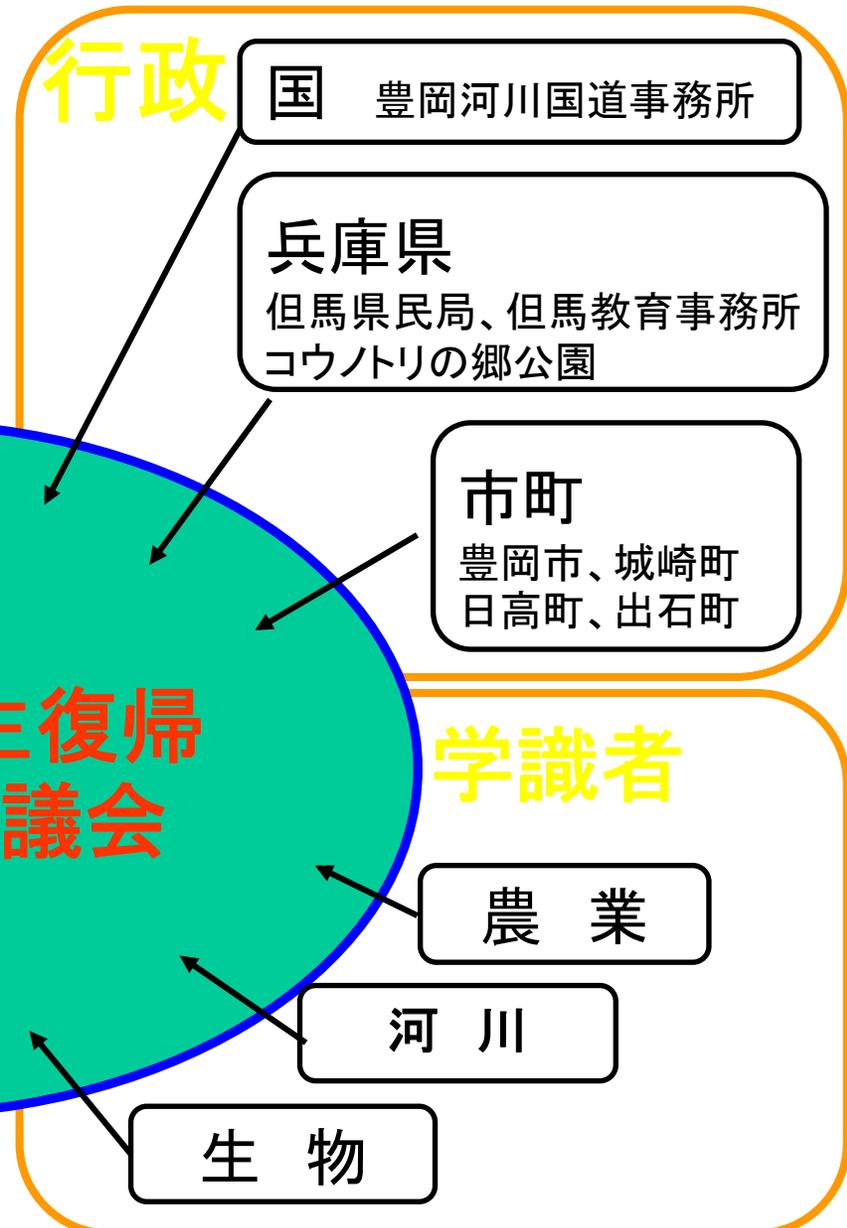
1960年の円山川支川出石川の様子

## 関係機関等との連携

### 市民



### 行政



# 釧路湿原の再生 (1)

自然再生

○近年の流域の経済活動の拡大等に伴い湿原面積が著しく減少。

○長期的な目標としてはラムサール条約登録(1980年)前の環境への回復。当面は西暦2000年現在の状況を維持保全。

○平成17年3月には協議会において、釧路湿原自然再生全体構想を作成

自然再生協議会の枠組

< 専門家 >

学識経験者等

< 市民 >

釧路湿原の自然再生協議会

(平成15年11月設立)

< 関係行政機関 >

環境省・農林水産省・国土交通省の地元機関

< 地方公共団体 >

北海道、地元市町村

● 協議会構成員(117名)

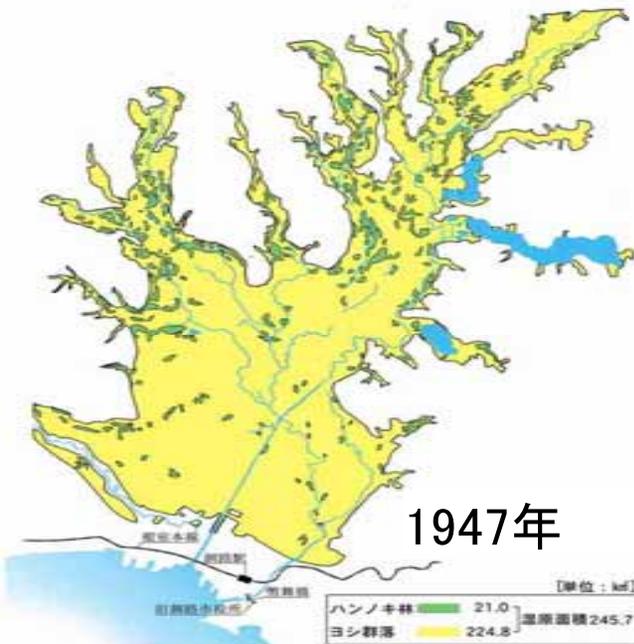
専門家、市民・・・92名

関係行政機関・・・3名

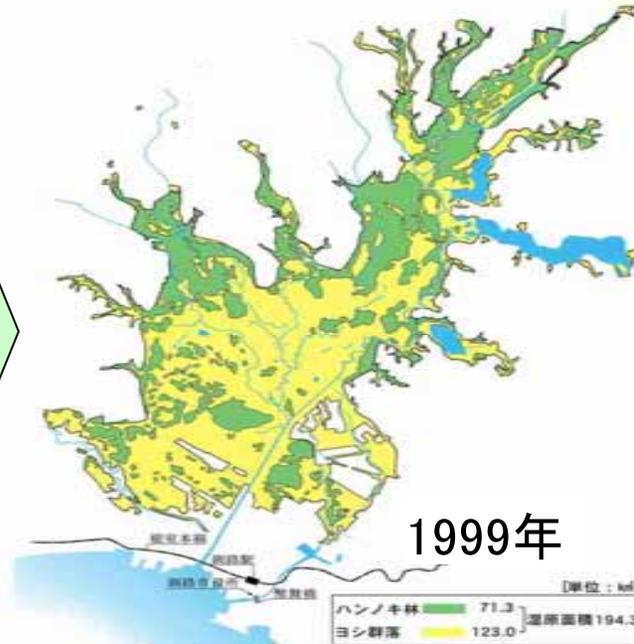
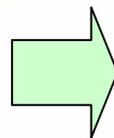
地方公共団体・・・8名

関係地域団体・・・14名

2005年3月時点



湿原面積 245.7km<sup>2</sup>

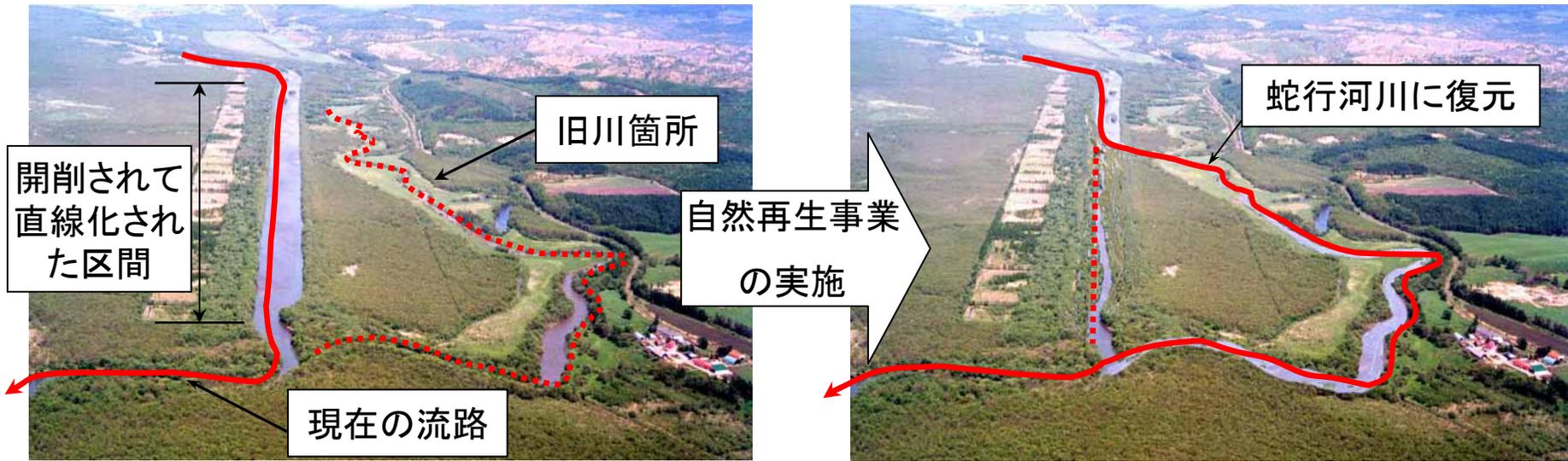


1996(平成8)

湿原面積 194.3km<sup>2</sup>

○自然再生の取り組みの一つとして、釧路川の茅沼地区において蛇行河川の復元を計画している

### 蛇行河川の復元イメージ



【河川改修により直線化された釧路川(北海道)】 【旧川を利用して蛇行河川に復元(イメージ)】

# 住民参画

- 河川管理者、地元自治体、市民団体等が各自役割分担を定め、市民と行政が協働で河川美化活動などを行うもの。

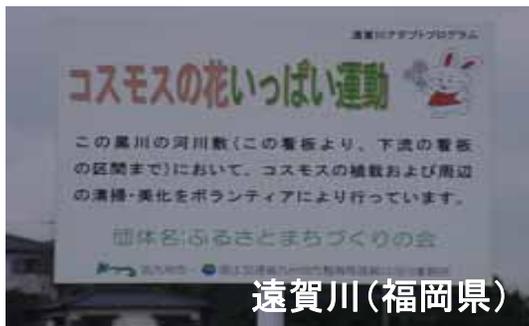
### 具体的には

- 市民団体、NPO等が、一定区間の河川敷等の清掃や草刈り、美化活動等を実施
- 河川管理者が、清掃用具の支給、アドプトサインの設置等を実施
- 地元自治体が、収集ゴミの運搬・処理等を実施

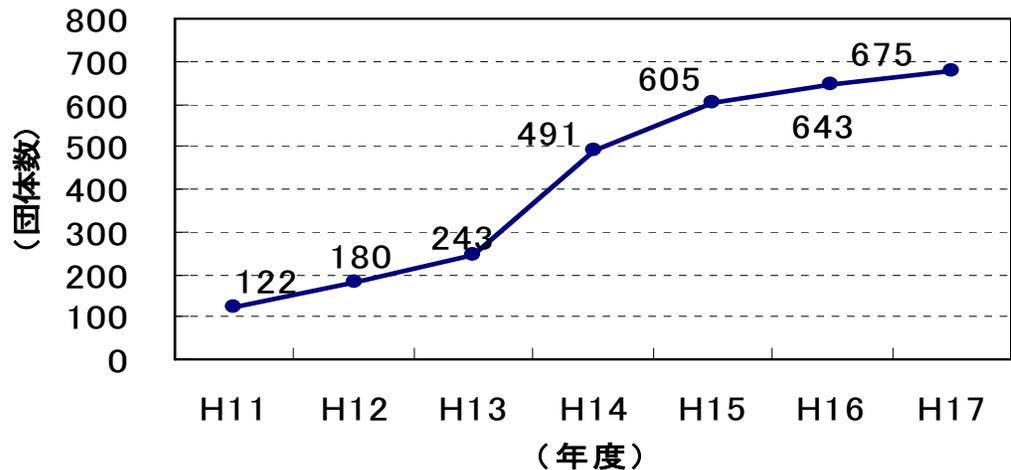
### 市民団体等と連携した河川清掃状況



### 河川管理者によるアドプトサインの設置



### 河川アドプトプログラム等参加団体経年変化 (大臣管理区間)



三ツ又沼周辺は豊かな自然が残る大切な地域として、「自然を守ること」を目的としてビオトープを整備。ビオトープ整備後は、学識者、環境NGO、地域住民、自治体などと連携を図りながらパートナーシップによる保全管理を進めている。

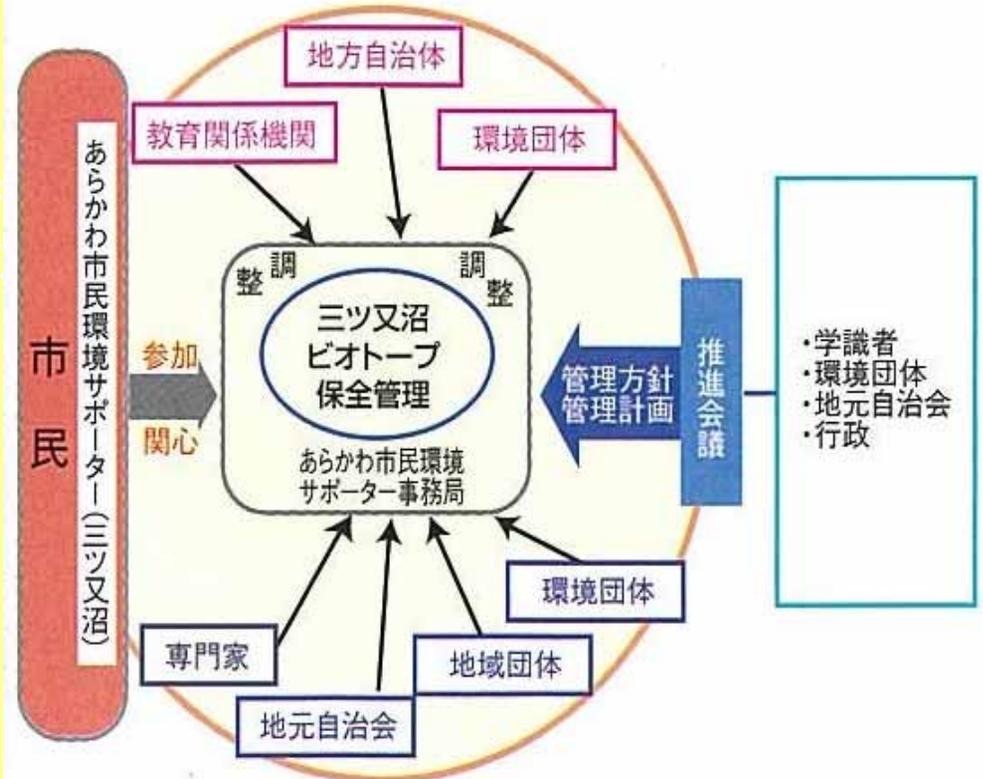


三ツ又沼



地域住民等の参加による  
保全管理作業

パートナーシップによる三ツ又沼ビオトープの保全管理に関わる主な主体と役割分担



# 長良川環境レンジャーによる河川管理活動

～河川パトロールで河川利用者に教育的指導～

住民参画

## 具体的活動

長良川環境レンジャー  
(H10. 5設立)

長良川を利用する人々に対する環境保全意識の啓発や自然生態系の解説をする市民ボランティア



河川利用のルール啓発とパトロールの実施



ゴミの持ち帰りの意識啓発とゴミ清掃活動の実施



小学校の社会科授業にて「環境出前講座」の実施

## 河川管理者のかかわり

- ・各種活動に必要な資材等の提供
- ・活動を行う市民を対象に、河川法や自然環境保護に関する講習会を開催

住民、市民団体等とともに、河川空間の親しみやすさや快適性などを現地で評価し、河川整備や日常の維持管理等に反映し、良好な河川空間の保全、整備を図っていく。

(平成18年度は全国664箇所を実施)

### 点検結果

## ～川の親しみやすさの成績表～ 川の通信簿

個所名：木曾川 東海広場

家族で遊べる開放感いっぱい多目的広場

### 東海広場はこんな所

所在地	木曾川水系木曾川 西側 13,000㎡程度
所在地	愛知県豊橋市立河川緑地
アクセス	東海自動車道豊橋インターから車で約1.5分
面積	約1.2ha
管理者	木曾川川源館センター
特徴	一万人広場やバーベキュー広場が整備されている。広場は多目的に利用され、年間を通して人々が訪れる。
主な利用	遊歩、バーベキュー、駐車
利用料金	—
開場時間	24時間



### 平成18年現在の成績表

総合的な成績：☆☆☆☆(4つ星)

良い部分が多く、満足感を味わえる

No.	評価項目	満足状況			評価 必要 %	満足度		
		良い	普通	悪い		満足	普通	不満
1	豊かな自然を感じますか	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	11%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	水はきれいですか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	32%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	流れている水の量は十分ですか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	17%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	こまがけがきれいですか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	37%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	清潔な環境が広くて好きですか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	20%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	景観はいいですか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	21%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	憩歩・安全を感じますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	19%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	流石や噴水には、気づきやすいですか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	16%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	水辺へ入りやすいですか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	29%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	広場は利用しやすいですか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	20%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	休憩設備やトイレは十分ですか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	73%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	散歩しやすいですか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	16%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	トイレは使いやすいですか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	75%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	トイレがきれいかどうかはいいですか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	22%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	駐車場は使いやすいですか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	11%	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

良い点  悪い点

### 特に良い点

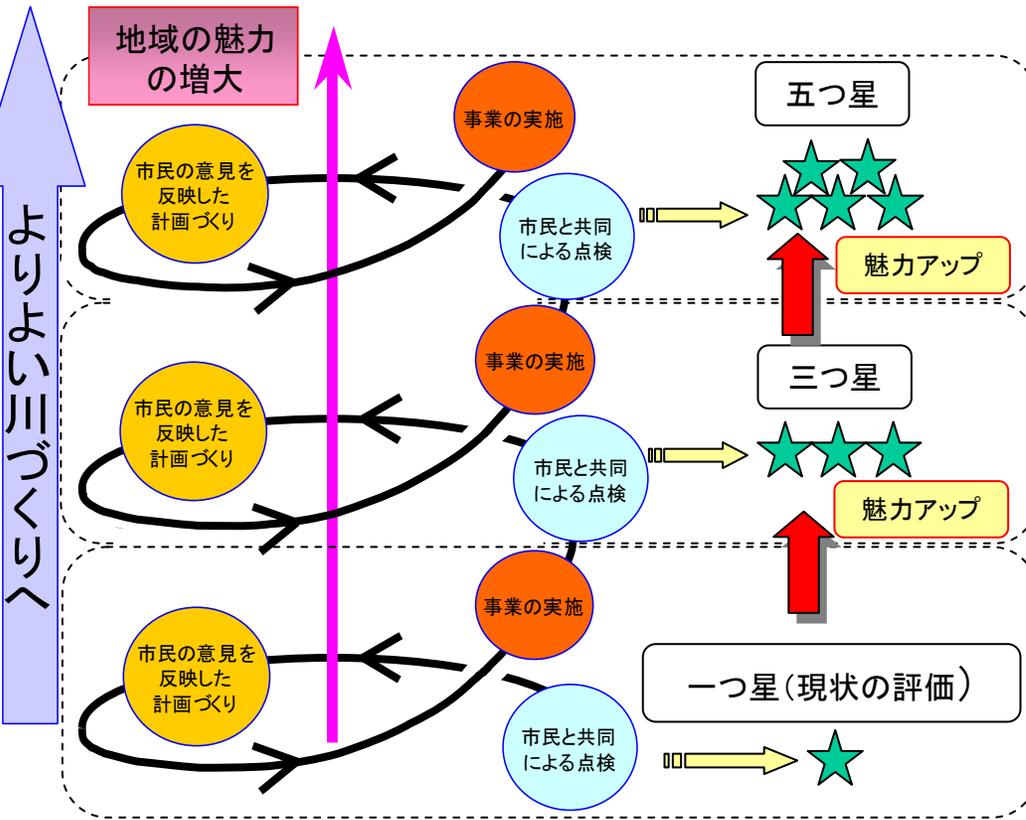
季節にもよりますが、川面に草が生いどるほど知らなかった。広大な広場、多目的利用ライフレジャック等々、無料であるところがよい。広い空間がすばらしい。散歩(水での)用具の取置はすばらしい。使用目的にあわせた広場の整備で利用しやすい。景色も良い。見まがたく、よく整備されている利用しやすい。

### 特に悪い点

トイレの清掃。小さな子供がいるので水際にももう少し高いしきりがあるとの安全だと思う。広場の大きさに比べトイレの数が足りない。トイレが少ない。子供でも利用可能。子供の水着の着用、トイレの清掃が必要(同時に水辺)利用者のマナーが必要。車の整備が必要と思う。

### 総合コメント

現状で、広々とした開放感が味わえ、駐車場も整備された施設として多くの人に利用されている公園です。5つ星にするためには、さらなる安全対策やトイレの充実などの工夫する必要があります。



市民の意見を反映した計画づくり

地域の魅力  
の増大

市民の意見を  
反映した  
計画づくり

事業の実施

市民と共同  
による点検

五つ星



魅力アップ

市民の意見を  
反映した  
計画づくり

事業の実施

市民と共同  
による点検

三つ星



魅力アップ

市民の意見を  
反映した  
計画づくり

事業の実施

市民と共同  
による点検

一つ星(現状の評価)



統一日を中心に全国一斉に同一手法による身近な水環境の水質調査を市民団体等と国土交通省が協働で実施し、その結果をわかりやすく表示したマップを作成。



【平成16年 第1回 統一日:6月6日(日)】

調査地点: 2,545地点

参加団体(者)数: 531団体

【平成17年 第2回 統一日:6月5日(日)】

調査地点: 約5,000 地点

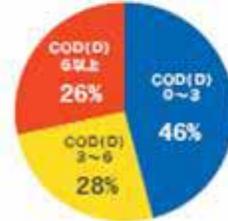
参加団体(者)数: 約1,000 団体

【平成18年 第3回 統一日:6月4日(日)】

調査地点: 4,923地点

参加団体(者)数: 944団体

この調査を今後とも継続することにより、市民の水環境に関する関心、流域の連携などがさらに深まる。



全調査地点の結果の比率  
※ 円グラフの大きさは調査地点の数を表しています



平成17年第2回調査の結果

# 環境教育

### ◆「子どもの水辺」再発見プロジェクト

【文部科学省、国土交通省、環境省連携施策】

(平成11年度創設 同14年度制度一部改正)

### ◆水辺の楽校プロジェクト

(平成8年度創設 同14年度制度一部改正)

■地域の市民団体、教育関係者、河川管理者等が一体となって、子どもの水辺協議会を設置。

■「子どもの水辺サポートセンター」が活動を支援(資機材の貸出等)。

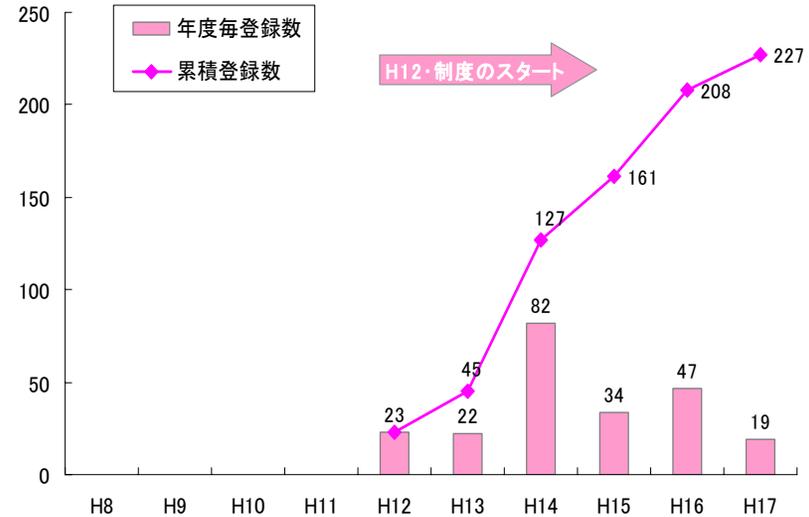
■必要に応じて「水辺の楽校プロジェクト」により施設整備を実施。



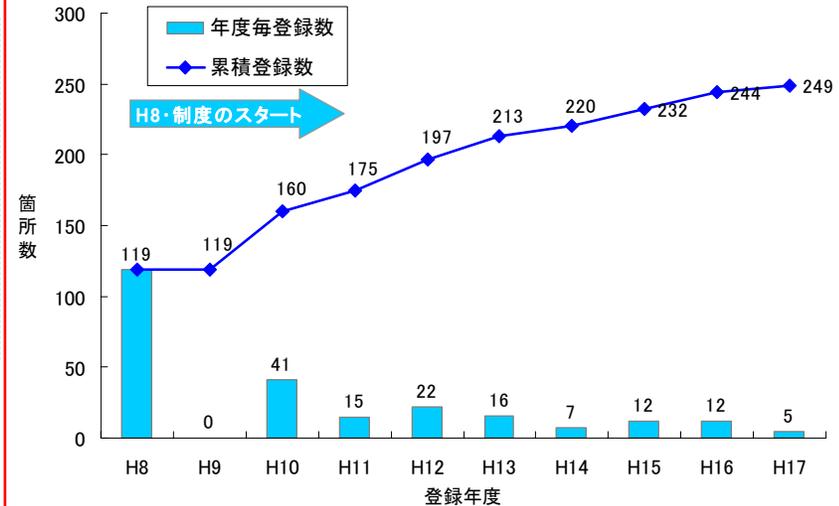
こぎ

「子どもの水辺」での活動の様子(近木川(大阪府))

「子どもの水辺」再発見プロジェクト登録箇所数の推移



「水辺の楽校」プロジェクト登録箇所数の推移



### 「子どもの水辺」再発見プロジェクト

<都道府県レベル>

子どもの水辺  
連絡会

- ・都道府県教育委員会
- ・河川管理者等

水辺の登録を報告

<水辺ごと>

子どもの水辺協議会

- ・市民団体
- ・市区町村教育委員会
- ・河川管理者等

水辺整備が必要な場合

登録申請

水辺の楽校プロジェクト

河川局長

水辺整備

河川管理者

プロジェクトの支援

<国レベル>

子どもの水辺  
推進会議

- ・文部科学省
- ・国土交通省
- ・環境省

水辺の登録

活動支援

- ・資機材の貸出
- ・各種情報提供
- ・市民団体等のコーディネート等

子どもの水辺  
サポートセンター



夏の多摩川学習(自然観察等)



アレチウリの駆除活動



環境学習(水質検査)

- 場所 東京都狛江市
- 水辺の楽校登録 H12年度
- 子どもの水辺登録 H17年8月
- 主な整備内容

ワンド	2箇所
坂路整備	1箇所
階段	1箇所

- ◇ わき水、小川、池、雑木林等、**今ある恵まれた水辺空間を生かした活動を行う。**
- ◇ 市民が主体となった「**運営協議会**」と**多くのボランティア**により、環境保全や総合学習の活動を展開。
- ◇ 平成13年4月に開校式を行い、環境学習会等のイベントを中心に積極的な活動を展開。(平成17年度には**61回**の体験活動、**3,336人**が利用)
- ◇ 多摩川の他の水辺の楽校とも連携し、活動報告会開催、情報誌発行等。

## (1) リバーズクール 白川（熊本市）

白川のことを学び、自然を大切にする心を育てるため、住民団体やNPOと連携して子供たちの自然体験型環境学習の支援を行っています。

また、子供たちの学習を支えるため、川で活動している住民等に、河川・環境・安全に関する知識等を習得していただく「川の指導者育成」に取り組んでいます。これらを通じて、白川では、川を地域づくりの場として利用しています。



**経緯** ・「川に学ぶ」社会の実現を目指し、地域で活発に活動する市民団体やNPOが主体となって平成12年9月に任意団体設立。

・平成17年12月14日、NPO法人登記。



**環境教育**

## 活動

加盟団体数: 125団体  
(H18.10月末)



- ・川の指導者の育成・認定
- ・子どもの水辺安全講座
- ・会員団体への支援
- ・ネットワークの確立
- ・普及啓発活動
- ・調査研究
- ・ニュースレター、メールマガジン

- ・川に親しむための基礎講座  
修了者 H16年度迄3,495人
- ・川の指導者  
資格認定者H16年度迄1,696人
- ・川に学ぶ体験活動全国大会  
を年1回開催。

## 川の指導者認定システム

各講座終了後、定められた期間の経験を積むとランクアップのための講座の受講が可能。認定ランクに応じて、引率できる人数、活動内容、活動フィールドが広がる。



### ※コーンCONEとの連携

自然体験活動における指導者育成のスタンダード「自然体験活動協議会(CONE)」と連携したカリキュラムを採用。RACが認定する川の指導者は、CONEの制度に対応し、登録可能。

●「『子どもの水辺』再発見プロジェクト」(文部科学省、国土交通省、環境省連携施策)の一層の活性化を図るため、平成14年7月に開設。

### ◆活動内容

- 1)「子どもの水辺」受付登録
- 2)河川環境学習や体験活動の支援

- ・HP、メールマガジン等による情報の提供
- ・講習会、各種会議の開催
- ・人材育成及び普及啓発
- ・資機材の貸出や副読本の提供



資材の貸し出し



副読本の提供